

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																					
専門学校麻生医療福祉 & 観光カレッジ		平成8年3月4日	富田 博之	〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝3-3-1 (電話) 093-882-0001																					
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科		平成22年文部科学省 告示第153号	—																				
学科の目的	多様化するホテル・ブライダル業界で、即戦力として活躍できる人材の育成を目標とする。 ホテルマン・ブライダル産業における基礎知識、専門技能、サービスマインド、語学力、パソコンスキルを有し、さらに現場での研修を通じ、実務知識、実務能力を身に付ける。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
	2年 昼間		1805時間	1020時間	270時間	320時間	0時間	240時間																	
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
50人		40人	5人	2人	24人	26人																			
学期制度	■前 期:4月1日～8月31日 ■後 期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度、確認テスト等の総合評価を行う。評定は、S・A・B・C・Dの5ランクとする。																				
長期休み	■夏 季:8月28日～9月6日 ■冬 季:12月18日～1月7日 ■春 季:2月5日～3月31日			卒業・進級条件	ア.指定科目全ての修得 イ.各学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的に個人面談を実施する 適時、本人・保護者への電話連絡や面談等を行う			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動等 ■サークル活動: 有																				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 星野リゾート、IKK、ホテルオークラ福岡等 ホテル、ブライダル業界 ■就職指導内容 担任ならびに就職担当者による受験指導、個別面談 保護者への就職説明会 資格取得のための補習等			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HRS検定3級</td> <td>①</td> <td>14人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>ホテルビジネス実務検定ベーシック2級</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>マナープロコール検定3級</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	HRS検定3級	①	14人	10人	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	③	15人	15人	ブライダルコーディネーター技能検定	③	15人	10人	マナープロコール検定3級	③	15人	15人	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ホテルビジネス実務検定ベーシック2級 優秀者賞1名(認定者1,451名のうち、上位46名に選ばれた者)
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
HRS検定3級	①	14人	10人																						
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	③	15人	15人																						
ブライダルコーディネーター技能検定	③	15人	10人																						
マナープロコール検定3級	③	15人	15人																						
中途退学の現状	■中途退学者 2名 ■中退率 5.9% 令和元年5月1日時点において、在学者34名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者32名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路の変更、経済的な問題等			■中退防止・中退者支援のための取組 適性検査の実施、検査結果による面談、スクールカウンセラーの配置、クラス担任による定期ガイダンスや三者面談の実施																					
	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 東日本大震災により被災し進学が困難になったものを対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。																								
経済的支援制度	■文部科学省 高等教育の修学支援新制度: 有 今年度対象者数:5人 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	http://www.asojuku.ac.jp/amkc/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学生の主な就職先であるホテル、ブライダル業界における、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会では次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、業界で仕事をされている兼任教員や、学生の就職先企業の方との意見交換を随時行う。さらに、ホテル実習やブライダル実習の連携企業に評価表をいただいたり、卒業生の就職先企業に対しお客様アンケートを実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。

委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議は、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
白濱 正信	九州BMC 副会長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	①
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル小倉 副総支配人(兼)総支配人室長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
沖田 由美子	レンタルブティック&ウェディング ウィズワタベ 代表取締役	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
津田 徳子	専門学校麻生医療福祉 & 観光カレッジ 教務	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
小形 享平	専門学校麻生医療福祉 & 観光カレッジ 教務	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 9月17日・11月19日

(開催日時(実績))

第1回 令和元年 6月20日 16:00～17:00

第2回 令和元年 11月7日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・評価観点においては、過程評価も重要な評価であるという意見があったため、全ての科目において従来の成績評価を変更。平常点として過程評価も加味する。到達目標に対し、理解度確認を含め過程評価を行うことを実施。

・提出物期限遵守とその評価:社会においては業務に対する期限厳守という意見があったため、全ての科目で提出期限の厳格化・習慣化する仕組みを設けることとした。

・プレゼンテーション能力向上:社内外における発表の機会増加の傾向にあるため、プレゼンテーションスキルの習得が必須であるという意見があったため、「自己表現」や「社会教養Ⅰ」、「プレゼンテーション演習」科目の授業内容に、プレゼンテーションする場を設けることとした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ホテル、ブライダル業界を中心に広くサービス業に携わる学科であることから、お客さまに対するホスピタリティを学ぶため、企業と連携し現場実習を経験する。ホテル実習では、フロント、客室、ベル、レストラン等、ホテル内の多様な業務を体験させる。またブライダル実習では、ハウスイエディング、ホテルウエディング、ウエディング衣裳等の企業で実習を行うことで、実務レベルの技術を身に付ける。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生の実習目標を定め、事前に企業担当者と打ち合わせ及び覚書にて、業務内容・勤務時間・評価基準等の確認をする。実習期間中は、学生及び実習担当者とのヒアリングを行い、学生の能力向上が効果的にできるように助言を行う。また専用記録ノート(実習ノート)により、具体的な業務の指示を明確にし、成果を確認する。最終評価として、実習先企業より学生ごとの評価表をいただく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する、10週間のホテル実習を通してホテルにおいて必要とされる知識・技能を修得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。	ヒルトン東京お台場／パレスホテル／ミリアルリゾート／京都ホテル／ハイアットリージェンシー大阪／ホテルオークラJRハウステンボス／ハイアットリージェンシー大阪／京王プラザホテル 他8社
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してブライダル業界において必要とされる知識・技能を修得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。	アルカディア小倉／婚礼衣装花田／株式会社山田屋 アベニュー山田屋小倉店、ホテルアルモニーサンク店／リーガロイヤルホテル小倉／T&Gアーフェリーク迎賓館小倉 他4社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・研修名「HRS承認校会議・懇親会」(連携企業等：日本ホテル・レストラン技能検定協会)
 期間：令和元年8月9日 対象(参加者)：小形享平
 内容：HRS検定に合格率向上のための教授法やスケジュールに関する情報共有

② 指導力の修得・向上のための研修等

・研修名「一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催 専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修」
 (連携企業等：一般財団法人職業教育キャリア教育財団)
 期間：令和元年8月6日～8日(3日間) 対象(参加者)：小形享平
 内容：学生・教員のための実践心理、専修学校と制度、専修学校における職業教育

・研修名「ユースアドバイザー養成講習会」(連携企業等：北九州市)

期間：令和1年7月22日、29日、8月5日、19日 対象(参加者)：津田徳子
 内容：①子ども・若者育成支援推進法、市の取り組み、子ども・若者応援センター「YELL」について
 ②保護観察所の制度の仕組み ③鑑別支所の概要 ④困った子は困っている子
 ⑤不登校・いきこもりについて ⑥若者の自傷、自殺について ⑦子どもを取り巻く環境
 ⑧ネットワークの構築と様々な社会資源の活用について ⑨相談助言の面接の実際
 ⑩スクールソーシャルワーカーの役割

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名 「宿泊主体型ホテルマーケットはこれからどうなる？」
(連携企業等: 株式会社オータパブリケーションズ)
期間: 令和2年6月30日 対象(参加者): 小形享平
内容: 出張ビジネスマンの宿泊データとマクロデータに、ホテル運営者の視点を合わせて読み解くマーケット予測

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催 専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修」
(連携企業等: 一般財団法人職業教育キャリア教育財団)
期間: 令和2年8月19日～21日(3日間) 対象(参加者): 小形享平
内容: 学生・教員のための実践心理、専修学校と制度、専修学校における職業教育
- ・研修名「コーチング基礎」(連携企業等: 組織デザイン・ラボ)
期間: 令和2年8月19日 対象(参加者): 津田徳子
内容: コーチングのスタンス、効果、カウンセリングとの違いを知り、基本の対応の流れを体験する
- ・研修名「コーチング実践 ～言動改善対応編～」(連携企業等: 組織デザイン・ラボ)
期間: 令和2年9月2日 対象(参加者): 小形享平
内容: クラスを乱す言動をする学生の事例を使って効果的な質問を作り、実践する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の教育方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者の参画を得て、包括的・客観的に判定する事で、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また情報を公表する事により開かれた学校作りを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的、育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・学生の理解度に乖離がある状況で、より効果的な授業を行うためには対策が必要との意見に対して、今年度は特に強化目標として、教員の教育力の向上に向けた取り組みを行っている。第三者による授業見学と、学校責任者等による、すべての教員の授業見学を実施し、授業アドバイスシート等を用いて改善点を明確に示した。
- ・学生の基礎学力や学習習慣の必要性が専門職としてはたらくうえで課題となっているとのご指摘を踏まえ、新たな基礎学力テスト「基礎力リサーチ」を入学時に実施し、学生個々の弱点をデータ化した。この個人データをもとに弱点分野対策のための補講を実施した。学習習慣を身につけるため、本学科では、朝自習を導入し、授業開始前に10分間の課題を全学生に課し、事前学習の習慣化を図ることで、授業にスムーズに入る体制を整えた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
有吉 弘幸	福岡県立折尾高等学校 校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	高校関係者
向井 秀吉	エアライン科1年保護者	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	PTA
井手 國昭	三六まちづくり協議会 会長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	地域住民
川田 菜未	エアライン科 卒業生(株式会社JALスカイ九州)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	卒業生
今仁 優衣	こども保育科 卒業生 (株式会社EPOビューティフルネーム 副所長)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	卒業生
下陣 夕佳	医事スペシャリスト科 卒業生 (社会医療法人共愛会 戸畑共立病院)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	卒業生
小山 勇毅	医療法人今光会 今光ホームケアクリニック 事務長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
沖田 由美子	レンタルブティック&ウエディング ウィズワタベ 代表取締役	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 管理部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
竹之内 豊文	株式会社 リーガロイヤルホテル小倉 副総支配人 兼 総支配人室長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
能美 和則	学校法人青山学園 青山幼稚園 理事長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	卒業生
星山 正光	社会福祉法人 西日本至福会 総務課長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
守田 昇平	医療法人医和基会 戸畑総合病院 事務次長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
徳田 康子	株式会社スターフライヤー 室長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/amtc/2019/hyoka.pdf>

公開時期: 令和元年7月22日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供する事で、学校運営の透明性を図ると共に、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、5つの強み
(2) 各学科等の教育	入学者受け入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動、サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、高等教育の学修支援新制度
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/amkc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ホテル・ブライダル学科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホテル・ブライダル業界研究	情報収集の方法を学び、ホテル・ブライダル業界に関する知識を深める	1前	15		○			○		○		
○			レストラン実務①	レストランでのサービスについて実践形式で学ぶ	1前	30				○	○		○		
○			レストラン実務②	レストランでのサービスについて実践形式で学ぶ	1後	30				○	○		○		
○			接客演習	サービス業界で通用する接客マナーを学ぶ	1前	15		○			○			○	
○			バンケット演習	ホテルなどで行われる宴会業務について学ぶ	1後	15				○	○		○		
○			ホテル概論①	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			ホテル概論②	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について学ぶ	1後	15		○			○		○		
○			宿泊実務①	宿泊部門の役割、業務内容について実践形式で学ぶ	1前	15		○			○			○	
○			宿泊実務②	宿泊部門の役割、業務内容について実践形式で学ぶ	1後	15		○			○			○	
○			GCB I	感謝心と思いやりを学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			GCB II	志について学ぶ	1後	15		○			○		○		
○			ウェディングセレモニー概論①	ブライダルの歴史、慣習から、結婚式の形式などについて学ぶ	1前	15		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウェディングセレモニー概論②	ブライダルの歴史、慣習から、結婚式の形式などについて学ぶ	1後	15		○			○			○	
	○		中国語 ※A	韓国語で基本的な日常会話を養う	1後	45		○			○				○
	○		韓国語 ※A	中国語で基本的な日常会話を養う	1後	45		○			○				○
○			ブライダルアイテム演習	衣装、ブーケ(ブライダル)、ヘアメイク・ネイル(トータルビューティ)についての知識を深める	1後	15			○		○			○	
○			一般教養 I-①	就職試験対策として一般常識・時事問題などの応用事項を学ぶ	1前	15		○			○				○
○			一般教養 I-②	就職試験対策として一般常識・時事問題などの応用事項を学ぶ	1後	15		○			○				○
○			サービス接遇	接客業をはじめ、幅広い分野において必要なビジネス文書作成などのスキルを習得する	1前	45		○			○				○
○			実用英語 I-①	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	1前	60		○			○			○	
○			実用英語 I-②	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	1後	60		○			○			○	
○			英会話 I-①	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜながら総復習を行う。	1前	30			○		○				○
○			英会話 I-②	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜながら総復習を行う。	1後	30			○		○				○
○			自己表現	自己分析を行い、表現するテクニックを学ぶ	1後	15		○			○			○	
○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1前	30				○	○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	1後	30				○	○			○	
○			社会教養Ⅰ	企業研究、履歴書の書き方など就職活動に必要な知識の習得を目指す	1後	30		○			○			○	
○			ホテル・ブライダルゼミ	自分を表現する手法として人前で話す能力を養う	1前	15		○			○			○	
○			実用英語補講Ⅰ	模試を中心とした検定直前対策を行う	1後	15		○			○			○	
○			ホテルスタッフ教養	サービス介助、ゴルフマナーなど、ホテルスタッフとして備えておくべき教養を身につける	2前	15		○			○			○	
○			ビジネスマナー	接客業をはじめ、幅広い分野において必要なビジネス文書作成などのスキルを習得する	2後	30		○			○			○	
○			ソムリエ	ワインについての基礎的な知識を学ぶ	2後	15		○			○			○	
○			ブライダルコーディネート演習	披露宴でにおいてテーマに基づいたコーディネートについて学ぶ	2前	30			○		○			○	
○			テーブルコーディネート演習	披露宴でのサービス及びテーブルコーディネートについて学ぶ	2後	30			○		○			○	
○			イベントプランニング演習	披露宴のプランニングについて学ぶ	2後	30			○		○			○	
○			HRS対策実技対策①	HRS検定の取得を目指し、実技の対策授業を行う	2前	30				○	○			○	
○			HRS対策実技対策②	HRS検定の取得を目指し、実技の対策授業を行う	2後	15				○	○			○	
○			HRS対策筆記	HRS検定の取得を目指し、筆記の対策授業を行う	2前	45		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ホテルマネジメント①	ホテル経営を中心に幅広く学び、各自テーマを決めて研究する	2前	15		○			○		○		
○			ホテルマネジメント②	ホテル経営を中心に幅広く学び、各自テーマを決めて研究する	2後	30		○			○		○		
○			観光概論	観光旅行業界の歴史と現状を学ぶ	2前	15		○			○			○	
○			バーテンダー	カクテルを中心に酒について学び、オリジナルカクテルの製作を目指す	2後	30				○	○				○
○			ブライダルコーディネーター技能検定対策	業界で必要な実務知識で、ブライダル協会の中の全国唯一の技能検定の取得を目指す	2後	45		○			○			○	
○			色彩・配色①	色彩についての基礎知識を学び、色彩検定の取得を目指す	2前	45		○			○				○
○			色彩・配色②	色彩についての基礎知識を学び、色彩検定の取得を目指す	2後	15		○			○				○
○			ウェディングプラン演習	結婚式、披露宴の企画・演出能力を養う	2前	15				○	○			○	
○			トータルビューティー演習	メイク、ヘアメイク・ネイルなど美しさをトータルにコーディネートするための知識を学ぶ	2後	30				○	○			○	
○			一般教養Ⅱ	就職試験対策として一般常識・時事問題などの応用事項を学ぶ	2前	30		○			○				○
○			実用英語Ⅱ-①	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	2前	60		○			○			○	
○			実用英語Ⅱ-②	実用英語検定、TOEIC高得点の取得を目指す	2後	60		○			○			○	
○			英会話Ⅱ-①	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜながら総復習を行う。	2前	30				○	○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英会話Ⅱ-②	英会話と実用英語で行う内容を織り交ぜながら総復習を行う。	2後	30			○		○			○	
○			社会教養Ⅱ	企業研究、履歴書の書き方など就職活動に必要な知識の習得を目指す	2前	30			○			○		○	
○			プレゼンテーション演習	パワーポイントを有効活用できるプレゼンテーションスキルを習得する	2前	30					○	○			○
○			実用英語補講Ⅱ	模試を中心とした検定直前対策を行う	2後	30			○			○		○	
○			プロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30			○			○		○	
○			ブライダル実習	地元のブライダル施設を対象にした現場実習を行う	1後	80					○		○	○	○
○			ホテル実習	全国のホテルを対象に、実際の現場にて実習を行う	1前	240					○		○	○	○
合計						58	科目	1850			単位時間(単位)	

「選択必修科目は※Aの中から1科目選択」

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
ア. 当該学科の所定の科目をすべて履修していること。 イ. 卒業基準検定を取得していること。 ウ. 学年の出席率が90%以上であること。 エ. 各授業科目の授業回数の3分の2以上出席し、Cランク以上の評価を取得する。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週